

修了時アンケート（大学院対象）

対象 : 大学院 博士前期、修士論文提出者
 実施期間 : 2020 年 1 月 7 日（火）～2 月 14 日（金）
 実施方法 : 教務係へ卒業論文を提出しに来た者に、アンケート用紙を配布し、すぐ側に設置した回収箱へ投函してもらう。また回収箱は評価・広報室前掲示板にも設置した。
 ※当初の回答期間は 1 月 20 日（月）までの予定だったが、回答率が少なかったため、期間を延長して実施した。

論文提出者 : 67 名
 回答者数 : 58 名
 回答率 : 86.6% ※2018 年度 90.0%

結果まとめ 質問ごとに(全体)(実数)

【専門分野・コース】 所属する専門分野・コースは次のどれですか？

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	A A		
哲学 哲学史	現代思想 文化学	臨床哲学	中国哲学	インド学・仏 教学	日本学	日本史学	東洋史学	西洋史学	考古学	人文地理学	日本文学	比較文学	中国文学	国語学	英米文学	ドイツ文学	フランス文学	英語学	日本語学	美学・文芸学	音楽学・演劇学	美術史学	共生文明論	アート・メディア論	文学環境論	言語生態論	専門分野名無効	合計
0	3	1	3	1	0	2	3	1	3	0	5	0	3	1	0	1	1	3	2	4	7	2	2	4	2	1	3	58
文化形態論：17											文化表現論：29											文化動態論：9						

質問 1 あなたが所属する専門分野・コースにおいて開講されている講義や演習の数や種類は十分でしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
31		19		8		0		0	

質問 2 あなたが所属する専門分野・コースにおいて開講されている講義・演習・実習等のバランスは適切だと思いますか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
29		24		4		1		0	

質問 3 あなたが所属する専門分野・コースにおいて開講されている授業の内容は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
32		23		3		0		0	

質問 4 大阪大学文学研究科の教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
25		20		7		5		1	

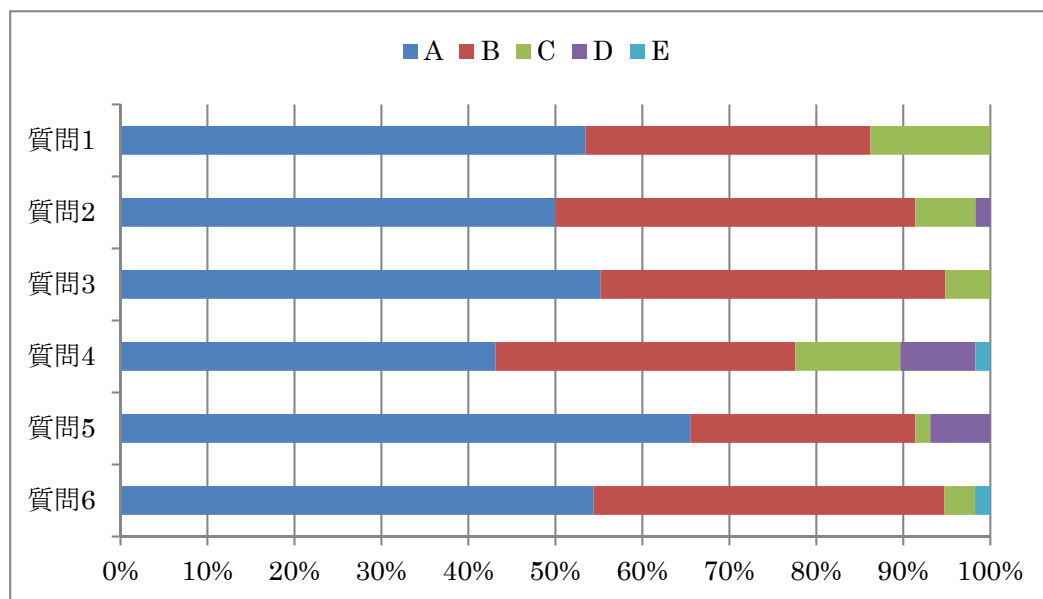
質問 5 修士論文の作成や日常の研究について、指導教員から十分な指導を受けることができましたか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
38		15		1		4		0	

質問 6 大阪大学文学研究科での勉学は全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
31		23		2		0		1	

各質問の回答選択肢の割合



質問7 大阪大学文学研究科での教育全般について、より良くするための意見や要望があれば、自由に書いて下さい。

【設備・教室について】

トイレのそうじをもう少し丁寧に行ってもらえると嬉しいです。

コピーや印刷の制限をなしにしてほしい。

【授業・単位について】

可能であれば、非常勤講師の数を増やし、様々な演習等に参加できる様にしてほしい。

他専攻・他研究科の授業でも教職の「教科に関する科目」の単位として認められるようにしてほしい。

テーマが関連し合う研究分野を総合した授業をより多く開講するべきだと考える。

【図書館について】

修士論文提出の直前にしか図書館が開館せず困った。提出時期を年内にするか、図書館の開館時期を変更してほしい。

専門の蔵書を増やしていただくことを希望します。

【その他】

長期履修生、社会人院生が研究しやすい環境づくりをしてほしい。

面談時間がほとんどなかった。

TA の待遇をもっとよくしてほしい。

教務係に大変お世話になりました。どうもありがとうございます。

自由記述欄についてのご回答

他専攻・他研究科の授業でも教職の「教科に関する科目」の単位として認めてほしいとの要望がありました。制度上は現在でも可能ですので、該当する科目がある場合には教務係まで申し出てください。

非常勤講師の増加や TA の待遇改善は、予算措置が必要な事柄であり、すぐには応じられないのが実情です。

本研究科では、社会人が大学院で学びやすくするために長期履修制度を運用してきました。社会人がより「研究しやすい環境づくり」を進める上で具体的な問題があるならば、教育支援室や教務係に指摘してもらえると助かります。

論文提出期間の変更については、正月休み明けの1月4日を提出日とした前年度からは改善したのですが、様々な要因から大きく動かすことがなかなか難しい状況にあります。附属図書館の開館時間については、試験期間中の24時間開館を実施するなど、図書館としても努力しているところです。ただ、全学的な問題ですので、すぐには実現できません。事前に計画を立てて準備しておくことをお勧めします。

トイレの改善については、年度末に特別清掃を行うなど継続的に取り組んでいるのですが、依然として強い要望があることは認識しています。今後とも快適な学習・生活環境の創出に向けて努めていきます。